



先月末から、SIあそび参観、保育部生活参観、すもうごっこと立て続けに子どもたちの園生活を参観いただく機会に恵まれ、子どもたちの園内での生の姿から多くのことを感じ取っていただけたことと思います。そのひとつとして、園生活は子どもたちが生活や遊び・活動を通して様々な力を手に入れながら確実に成長・発達を遂げていくプロセスの場であることを感じていただくことも参観を企画運営する私たちの願いのひとつです。

その上に立って、今後も自主公開研究発表会をはじめ本園の教育・保育を発信する場や皆様とお子様の育ちを共有する場を設けていきたいと考えております。

【6月の幼稚園】

- 6/1(木) 歯科健診…お世話になった森本先生が、子どもたちが怖がることなくしっかりと受診をする姿にとっても感心しておられました。
- 6/1・2(木・金) 木村研 WS…自らの手で作り出したおもちゃを使って遊んで、壊れたら直して遊ぶ繰り返しに、子どもたちの喜びの声が響く活動になりました。
- 6/5(月) 保育部参観日…3歳未満児学級の日常生活の様子を参観いただきました。如何だったでしょうか？
- 6/7(水) すもうごっこ…大変多くのご参観ありがとうございました。それぞれの子どもがここから手に入れる力に期待のこもる一日となりました。
- 6/9(金) にこにこ文庫絵本貸出開始…絵本の貸し出しがスタートしました。この貸し出しが絵本を通した親子の触れ合いの一部になっていく事を願っています。
- 6/12(月) プールびらき…入水時のお約束を寸劇で伝え、プールの神様に子どもたちの安全を祈願し、今年のプール遊びがスタートしました。プール参観は9月上旬に行います。
- 6/14(水) 田植え(年長児)…天候を心配しましたが当日の晴れ間を縫ってもち米の苗を子どもたちの力で植えました。10月の収穫が今から楽しみです。
- 6/16(金) 幼保小中合同体育遊び…この日成徳小学校区の幼児・児童・生徒が東中体育館に一堂に会し、安田式体育遊び研究所の居関達彦所長の指導のもと体をいっぱい使って児童・生徒さんとの交流を深めました。
- 6/29・30(木・金) 木村太亮 WS…絵本作家の木村太亮先生においでいただき、子どもたちと一緒に先生のオリジナルカラーパターンからのちぎり出しで海の世界を共同製作します。

【情報提供】

先月のSIあそび参観でご講演をいただいた、白濱洋征先生のフェイスブック(ID不要)「SIあそびへのいざない」で本園のご紹介をいただきました。他にも多くの対談のオンデマンド配信がなされていますのでご紹介します。右QRコードよりお入りください。



第二の伯桜鵬目指して

倉吉幼稚園
すもう大会



第二の伯桜鵬目指して
倉吉幼稚園
すもう大会

令和5年6月16日(金)
日本海新聞

「第二の伯桜鵬目指して」
倉吉幼稚園のすもう大会が、今年も盛況で、子どもたちの熱い戦いが繰り広げられた。今年も多くの保護者や地域の皆さんが参観され、子どもたちの成長を応援する姿が印象的だった。

【7月の幼稚園】

- ◆7/7(金)七夕まつり…今年はいっぴたり七夕の日に開催することができます。みんなの願い事を書いた大きな七夕飾りを園庭に立てます。職員の寸劇など楽しい企画がいっぱいです。
- ◆7/21・22(金・土)年長児お泊り保育…1学期の締めくくりとなる活動です。親元を離れお友だちと力を合わせて生活を創ります。
- ◆7/28(金)第1学期終業式…楽しいこといっぱいだった1学期を納め、2学期の楽しい生活への期待を高めます。
- ◆7/29(土)第13回自主公開研究発表会…
テーマ:「乳幼児期から始まる生きる力の根っこ育て」
～“土踏まずと下あごの形成”を目指して～

倉吉幼稚園では平成20年度に文部科学省教育改革推進モデル事業補助金を活用し、予てから危惧を覚えていた「子どもの姿勢保持力の脆弱さ」の解消をねらい「専門家とのネットワークの活用による乳幼児期の四肢調整力の獲得とそこから広がる言葉と心の育ちを願った取り組み」として上記の研究主題でスタートしました。

それから十余年、コロナ禍の2年間を除き、毎年6月の研究発表会の開催と共に園生活の中での実践、記録の蓄積と考察、外部への発信を重ねてきました。

第13回目となる今年は、コロナ前の開催形態に戻し、保護者の皆様にもお子様の姿と共に実践発表と吉村眞由美先生による講演会までご参観いただくこととしています。希望者には、午後のシンポジウムもご案内しますので、皆様のご参加お待ちしております。

【お知らせ】

平成12年度より主に事務職を務め、令和元年度より預かり保育をご担当いただいた倉光恵利子先生が7月15日をもってご退職の運びとなりました。

また、令和3年6月より主に預かり保育をご担当いただきました中川麻代先生も6月30日をもってご退職されます。

両先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。